

～安心を未来へ～

2010年7月5日発行 7月号 No. 185

◇「これまで通りに」

本部長代行 松本 有司〔台東支部 金方堂運輸(株)〕

「マッちゃんいつにする」と見せてくださる竹内本部長の手帳はいつも真っ黒。「空いてる日をお教えてください」と絶句の連続です。また手帳の半分には有識者の名言がぎっしりと書き留められており見識の深さに閉口するばかり。過日も「本部長の後ろを付かせて頂こうとしても限界です」と愚痴を溢してしまつた。「総務委員長と本部長代行は何が違うのですか」と質問をしても「いいんだよ」と規約の変更をしてまで新職を造るご提案には真っ向反対させて頂いた始末。結論は下支えには不十分ながらも「これまで通りにやっていくのみ」であります。

しかし、4年間竹内本部長にお供させて頂き、なぜロジスティクス研究会に改名したのか、一時は旧壮年部不要論が唱えられながらもなぜ各支部にメンバーが増えているのか、なぜ三組織の連携強化が重要なのか、ぼんやりと歩むべき方向は見えて参りました。オピニオンとして示させて頂いた本部長のお言葉通り、社会への安心を業界として普遍的なものにすること。女性部や青年部との視点の違いを取り纏め正しい情報を集め、また発信すること。疲弊した環境下に於いて、今は業界が一枚岩になる必要性から、東ト協公認団体であるロジ研に求められる使命の重さを痛感せざるを得ません。このことは本部役員連絡委員会の新設からもお測り頂けると思います。

見識も足りず、重圧に潰されそうな自分を慰めてくれたのは青年組織時代の仲間でした。近畿トラック青年協議会のOB会の席上、「マッちゃん、大阪も真似してロジ研を作ろうと思う。地域特性を越えて意見を纏めて行こやないか」との提案を頂戴できました。何時もの台詞になりますが我々は異業種交流会です。しかし今は一枚岩になる必要があります。不安だらけの下支えではありますが、ご声援を続けて頂けるよう精進致す覚悟であります。

◇広報委員長 山田正信〔足立支部 (株)森田商運〕

この度、広報委員長を仰せつかりました足立支部 森田商運の山田と申します。

7月の〈ひびき〉より編集作業に携わらせて頂いております。〈斬新な記事〉〈読みやすい紙面作り〉を目標に新スタッフともども努力してまいりますので、何卒よろしくお願い致します。

◇「参議院選挙に期待すること」(特別寄稿)

山崎養世事務所 代表 山崎 養世

民主党に期待しているのは、日本経済を再生させるための施策を実行することだ。特に、地方の衰退をなんとかしてほしいという声が多く挙がっている。

具体的に生活コストが下がるといったメリットが国民にあり、経済効果が出るのが明らかなのは、高速道路の無料化である。

しかし、6月28日に開始された無料化の社会実験は、財源が6000億円から1000億円にまで削減されたせいで、当初は地方の高速道路の8割の区間で実施されるはずだったが、2割にとどまっている。

財源がないというが、暫定税率分2兆5000億円は復活したし、高速道路ユーザーが支払っている高速道路利用に係る税金が1兆円に上るのだから、その一部を使えば無料化は実現できる。

仮に6000億円あれば全国の高速道路の8割が無料化でき、ケンブリッジ大モデルで試算すると、10兆円以上の経済効果があるという結果もでている。

高速道路無料化のよいところは、今あるものを利用するだけで実行できるところだ。それだけでコストも、一般道路の渋滞も、CO2の排出も減り、財政再建に資するのだ。ぜひ、民主党には、高速道路無料化が単なるバラマキではなく、これほどのメリットがあることを有権者に訴えて、その後の政策の実行につないでほしい。

◇研修委員長 渋谷隆義〔千代田支部 (株)ユニコム〕

新年度研修委員長を仰せつかりました渋谷でございます。平成22年度の研修では、今回この「ひびき」にご寄稿いただきました山崎先生に第1回をお願いしようと調整中です。

皆様にご参加いただけるよう研修会を企画してまいりますのでよろしくお願い致します。

また、7月13日は特別企画として「バスーラ」のチャリティ上映会です。14時30分受付開始、15時から開演です。ロジ研会員、社員、ご家族、知人等どなたでも入場できますが、事前登録制ですので、03-3359-4137 バスーラ係りへお電話でお申込みください。ロジスティクス研究会HPにも掲載しています。なお、入場無料ですが、「バスーラ基金」へのチャリティ上映会ですので、ご協力もよろしくお願い致します。※「バスーラ」とはカクゴ語で「ゴミ」を表します。

平成22年度幹事・監事名簿

役職・氏名	会社名	所属支部	新任は新
幹事 大淵隆次	(株)協和運輸	千代田	
〃 塙 康敏	(株)ハナワトランスポート	中央	新
〃 飯島光幸	(有)トーワ・デリバリー	新宿	
〃 岩崎晴彦	(有)エイチ・アイ・ユー	新宿	
〃 井口 浩	井荻運送(株)	杉並	新
〃 田澤 功	コスモ運輸(株)	文京	
〃 荒木秀幸	みすゞ興業(株)	板橋	
〃 木村伸樹	(有)弥栄運輸	練馬	
〃 柴崎光章	(株)シバサキ	台東	
〃 奥井理之	坂口運輸(株)	深川	
〃 江森 東	江商運輸(株)	城東	
〃 松下章一	(有)松下運送	江戸川	
〃 竹中康浩	(株)竹中興運	葛飾	
〃 川村寧次	川村運送(株)	荒川	
〃 清本秋男	武蔵野運送(株)	多摩	
監事 緋田政人	緋田運輸(株)	中野	新

役職・氏名	会社名	所属支部	新任は新
幹事 山本伸一	芳和輸送(株)	千代田	
〃 半田一恵	(株)入船物流システム	中央	新
〃 金子俊一	金子運輸(株)	新宿	
〃 小俣明彦	(株)西荻貨物	杉並	
〃 石井秀男	(株)寿運送	文京	
〃 國分正道	(株)国分	文京	新
〃 杉田義彦	(株)丸一物流	板橋	
〃 平塚喜一	共立貨物運送(株)	北	
〃 瀧崎 尚	滝崎運送(株)	台東	
〃 鎮目隆雄	(株)フックス	深川	
〃 永嶋信一	亀戸運送(株)	城東	新
〃 小川和美	(株)辨天おがわ運輸	江戸川	
〃 斉藤彰悟	エスエイロジテム(株)	荒川	
〃 相楽俊一郎	大徳運輸(株)	足立	
〃 羽田三根夫	(株)羽田運送店	多摩	
監事 矢島光男	(株)坂村ワールドトランスポート	杉並	新

総会資料より **平成22年度事業計画書**

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

1 活動方針

リーマンショック以降、各国の大胆な金融・財政政策が奏功し、アジアを中心に総じて回復基調をたどってきた世界経済。しかしドバイショックが駆け巡り、ギリシャショックによりスペイン、ポルトガルなどの南ヨーロッパ諸国の財政不安が表面化し、世界同時不況の渦のなか、危機的状況は脱しきれていない。

日本経済は生産や消費の一部に持ち直しの動きが見られるものの、デフレ状況にあり、景気回復の足取りは依然として弱い。円高による影響等により、輸出企業は打撃を受け、製造業は過剰設備の整理や、人員体制の見直しなど、事業再構築に大きく動き、雇用情勢や中小企業の業況には、依然厳しいものがある。

国内消費は低迷を続け、閉塞感が漂うなか、夏の衆議院選挙で民主党政権が誕生したが、日本経済は政権交代の影響で、即効性ある景気対策に時間的なズレが生じ、いまだ底から抜けきれず、さらなる景気の下振れも懸念されている。

このような状況下における、我々貨物運送事業を取り巻く経営環境は、軽油価格の高止まり、高速道路問題をはじめ、長引く景気低迷の影響により、輸送量の激減、收受運賃の採算割れなど各事業者の経営は大変厳しい状況におかれている。さらに、環境対策や安全確保の取り組み、法令遵守、少子高齢化時代の労働力確保など、直面する課題は山積している。

しかし、どんなに劣悪な経済環境の中においても、国民生活と産業活動のライフラインを担う我々トラック運送事業者は、国内輸送の太宗(たいそう)を担う公共輸送機関としての自負と誇りを持ち、浩然の気を常に養い、安全対策、環境対策などに取組まなければならない。

我々はこれまで、年間統一テーマを決め、安全輸送の確立と国民への安心をいかに提供できるかを語り合い、模索し続けてきた。「安全と安心の共創」、「安全と安心の実現」の総括を終え、我々がこれから取り組むことは、今まで研鑽を重ね、行動してきたこの「安全と安心」の理念を、継続することである。

今年度は、「安心を未来へ」を統一テーマとし、貨物運送事業を通じてさらなる社会への貢献を希求するものとする。そのためには、社会の人たちに安心感を持ってもらうための事業経営のあり方を考え、事故防止や環境問題への取り組みと同時に、働く人たちが安心して働ける場を作り出すことが重要であると考え。事業経営の根幹を支えるものは、それぞれの企業に集い、ともに働く人である。安全を作りこむのは人である。「人を大切に経営」こそが、安全の原点である。

我々事業者は、安全な輸送を通じ、社会に安心を提供することが第一義であるという企業風土作りに取り組み、環境への配慮と安全活動は不可分一体のものであるとの観点から、協会との連携を更に深め、推進する諸施策等についても密接な連絡体制のもとに同歩調を取り、特に協会の新たな目標として推進する「飲酒運転の根絶」をはじめ、「グリーン・エコプロジェクト事業」を中心とした環境問題への対応を推進する。

さらに常に社会との共生を図るためにもコンプライアンス(法令順守)を重視し、社会的使命を果たし、事故の根絶に努める活動を、本年度も多くの会員に参画していただき展開し、同時に青年部、女性部とも連携を取り、一層の結束を固め、共に研鑽を積み、この厳しい経営環境を克服すべく活動に取り組むものとする。

2 年間統一テーマ 「安心を未来へ」

3 事業計画

(1) 政策提言活動の実施

ロジスティクス研究会では、平成6年以来10回にわたり政策提言を行っているが、平成18年度より毎年度研修結果の取りまとめとして発表している。

本年度も研修等の内容を研究し、その成果を発表することとする。

(2) 研修会の体系的・計画的実施

年間統一テーマにかかる内容で効果的な研修会を実施する。

(3) フォーラムVの開催

年間統一テーマに即した企画で実施する。

(4) 納涼会の実施

会員間の親睦を図るとともに、関東運輸局・東京運輸支局長表彰等受賞会員を祝賀する納涼会を平成22年8月4日に開催する。

(5) 温故創新セミナーの実施

歴史上の人物の足跡を現地で学ぶ「温故創新セミナー」は、昨年度愛媛県松山市に秋山好古・真之兄弟の足跡を訪ね、明治時代を学んだが、今年度は引き続き日清・日露戦争当時を海外研修と合わせ、中国大連(203高地等)を訪ねるとして企画し、実施する。

これまでの実績は、別表1のとおり。

(6) 人材養成事業への協力

ロジスティクス研究会が青年部OBによる自主的研修集団として発足した経緯に鑑み、今後とも人材養成等財団の研修事業に協力していく。

特に次世代経営者を養成する「物流経営士課程」については、旧壮年部員が参加した特別物流経営士課程がその嚆矢(こうし)となっていることから、講師・指導員として協力していく。

また、運輸事業助成交付金による支部研修活動についても、三組織による合同研修会の企画等についてリーダー的役割を果たすよう務めていく。

(7) 広報活動の充実

機関紙「ひびき」は、会員の貴重な情報源であることから、テーマを決めた紙面作り等により工夫を凝らしていくとともに、ホームページとの連動を図る。

また、ロジスティクス研究会ホームページについては、一昨年度にリニューアルを行ったが、昨年度再度のリニューアルを行い、活用の可能性も高まったことから、本年度新たに展開・運営していく。

(8) 忘年会の実施

会員間の親睦を図り、新年に向けた鋭気を養うため忘年会を実施する。

(9) 親睦ゴルフコンペの実施

健康増進とコミュニケーションを図るため、親睦ゴルフコンペを企画する。

(10) 組織の充実強化

各支部の実情を把握し、会員の加入促進を図る。

(11) 東ト協本部との連携強化

東ト協本部との連携を更に深め、諸施策等を密接な連絡体制のもと推進する。

(12) 三組織の連携

三組織合同セミナー・交流会等の実施

①青年部、女性部との三組織は、世代、性別を超えた物流事業経営者としての連携を強めるため、合同の事業を企画・実施している。本年度は、例年2月に開催している三組織の合同セミナー・新年会は青年部が担当する年であり、ロジスティクス研究会も会員の力を結集し、実施する。

②三組織連絡会の運営

三組織の連携をより密にし、各組織の事業の円滑化を図るとともに東ト協の政策の浸透を図るため、定期的に開催する。

◇お知らせ《○ロジ研行事予定》

07/13(火)12:30～正副本部長会議

13:30～幹事会

14:30～上映会受付 15:00～上映

16:50～四ノ宮監督トーク&ディスカッション

於：東ト総合会館7F

人材財団と三組織協力による

『BASURA バスーラ』上映会

08/4(水)16:30～正副本部長会議

18:00～ロジ研納涼会 於：明治記念館